

## 各地幼稚園だより

# 大連市 譚家屯幼稚園

## 小山田 節

(ロ)大連市役所よりの補助金

(ハ)保育料及入園料(保育料一ヶ月二圓五十錢也、入園料二圓也)

(ニ)母の會の助成金(母の會費一ヶ月五十錢)

一、保育の目標を明瞭に

唯家庭教育を補ふと云ふ廣い範圍でなく、左の如く目標を立て、保育の主義も方針も内容も此目標に向つて進んで參つて居ります。

(一)健康保育に 氣候風土生活様式共に祖國と異なる地に生ひ立つ幼児に適當せる保育をなし大陸的な健康の基を作らなければと心掛けつゝあります。

(二)日本國民としての魂の保育を 二千六百有餘年來つながら日本民族の血の流れを魂の中に打ち込むべき即ち三つ兒の魂の保育を致したい。祖國の古き傳統と其背景に乏しい此大陸としては一層の努力指導者の燃ゆるが如き愛國心を持ちつゝ、培ひ育てたいのであります。

(三)立派な躰けの保育に重きを置いて居ります。大東亞の建設世界の新秩序を確立の爲には民族共和的指導者としての心の躰けこそ幼児の保育の第一歩に於て致したいと念願致して居ります。

日本人の子供國家を主としたる躰け

家庭の子供としての躰け

社會の子供としての躰け

一、所在地 關東州大連市光明臺二十七番地

一、創立 昭和九年四月十五日

一、設立認可 昭和十年五月三十一日

一、現在籍 幼兒數、百五十九名

一、保姆數 五名 園長兼保姆一名 保姆三名 保姆助手一名 園婦一名

一、經費豫算 七千二百五十五圓也

一、組數 四組 二年保育二組 一年保育二組

一、設立關係 大連市住宅街、菖蒲町區千草町區早苗町區葦町區馬町區内の有志に依り財團法人幼稚園協會を組織同會理事長一名理事四名、常務理事一名、評議員若干名役員を以て毎年一回會合所管せり

一、維持の方法

(イ)五區よりの補助金

是等はほど幼児の生活保育の中に於て不知不識の内に於て指導致したいと思ふのであります。

(四)家庭教育の指導を致して居ります。毎月一回六日國母陛下御誕生日六の日を定例母會としてお母様方に來園を定め密接なる聯絡を致して居ります。

當地に新しく生活せらるゝ家庭生活には比較的に缺陷がある様に思はれる。

老人の勤い家庭、親族縁者のゆかしい交りに足らぬ處も多いが祖先をうやまひ眞實なる心の生活と云ふ事に重きを置きつつ指導の内容を考へて居ります。

(五)社會教育との聯絡の爲には、社會事業協會、母性聯盟、兒童文化協會奉公班隣り組と相協力の事に致して居ります。

(六)保育の内容については、園内には大神宮様をまつり全幼児保姆禮拜に日々の保育生活の中心を置いて居ります。冬期室内生活の多い當地に於ては出来る範圍内に於て戶外生活保育に重きを置き、新鮮なる空氣、日光、土に親しむ事出来る限り取り入れて居ります。

自然に親しむ機會を多く取り入るゝ事は冬の生活を補ふ爲にも健康の爲にも大切だと思ひます。出来るだけ日々の天候に依つて保育案は實行致して居ります。

(七)保育の實際は質實簡易を旨として、何處までも簡易幼稚園であります。大東亞戰時下に於てのみならず戰爭以前に於て心掛けつゝ實行致して來ましたのであります。

(八)日々の保育について、當園の徽章は海の日出であります。

朝日ののぼる勢ひ、さしのぼる朝の日の如く爽かに生ひ立つ幼児の心、延び行く御園の寶をすくゝと太陽の昇るが如く育て行く、私共の心には明治天皇様の御製を

さしのぼる朝日の如くさはやかに

もたまほしきは心なりけり

此お歌を保姆の心として明朗に心掛け得べく修養訓として居ります。

登園せる幼児達は先づお神様をおがみ、辨當を所定の場所に置き直に思ひくゝの遊びに入るのであります。自ら蒔いた花壇、野菜などに如露で水をやる幼児もあり、兵隊ごっこ、ブランコ、ジャングルに上る者、砂場はいつも最も楽しく朝の保育室で繪本を熱心に見入る幼児もある。藤は恰よい日蔭になつて、手觸りよい砂遊びに時の過ぐるのも忘れしむ。園庭には連翹、ライラック、海棠、林檎の花も散りイチャハツはまだ少し咲き残り、チュウリップが咲いた後の實をつけたのも幼児はおもしろいものに質問の材料となる薔薇が澤山花を持つた、見事に咲き揃ふのも近いであらう。蜜蜂は飛んで來る。お玉じやくしが生れるのは雨の後の楽しみで、可愛いバッタが庭の雜草に生れる。兔に草を食へさせる幼児、紅葉の木が木登りに恰よよろしいの

でいつも誰かとのぼつてる。堂々たる建物ではない私共の幼稚園も豊富なる自然を持つ幸福つくゝ有難いと思ふ。

十時近くなるとお片づけが誰かの口から叫ばれ、て整頓して

國旗臺のお山の前に集ります。

宮城遙拜、黙禱の後幼児體操、(ハトホットの體操)を致しますが、其日の天候によつて變る事は度々であります。

お山登りに行く幼児、散歩に出かける組、室内遊戯の組もあり、又全體同時にお嘸しや紙芝居を見る事もある。

お食事、おうがひの後、靜かな子守歌に靜肅にし(一分位)兵隊さん有難う頂きますの後晝食、食後は暫く靜かに繪本畫報など見る事になつて居ります。

午後は靜かな分團保育がとゞき、二時にはお片づけを繰り返して全幼児集合後お歸りと致して居ります。

保育の課程は保育の記録に重きを置き、細い案は立てずに其日其日のお日様に御相談申上ぐる日が多いのであります。

殊に當地の天候は四月は塵埃蒙古風の日が多く戸外遊びが思ふ様に出来る日が少いのであります。

入園當初の幼児は冬の生活から戸外生活に入る最初であります爲に、注意深く徐々に戸外生活に移らないと病氣になるのであります。温室の花を出す場合の如くであります。

六月から七月にかけて幼児の出席が悪くなります。是は、強い強い日光に弱い幼児は負けるのであります。

木蔭にて日光の直接にあたる事のない様に戸外保育の注意を要するのであります。

七月から海岸保育を始めますが十四時頃までに歸宅して午睡を出来るだけ實行致させて居ります。



一ヶ年の保育の内容は行事について大體の事が分かつて頂けると存じますので省略致します。

(九)園の歴史と個人の事について 明治大正昭和の御代を通じて幼児保育の事に御奉公させて頂きました、足らぬ身を恥じながらも終始一貫して参りました事は幼児保育の發達の念願のみでありました。滿洲の野に細々ながら種子を蒔きました園は、三十年の歴史を経ました。根は張つて参りましたが園丁の力足らざるを申譯なく存じます。

最後の御奉公としてほんの隣組式の幼稚園をお世話申上て最早又八年を過しました、感慨無量なるをおぼえます。

大陸の一角としての滿洲五族共和の滿洲の保育事業の爲に、日々の保育の爲に、關東州保育會の事業の發展に盡すべき事の日も足らぬを感じます。

私個人の幼稚園ではありません、御國の幼稚園であります、町の幼稚園であります。

相共に何處の園も一致團結して進みたい願ひで一ぱいでありませす。

一、當園行事(十六年度、實施のもの、四大節祝祭日等毎年同一に行はるゝものは省く)

四月	本年度入園児保護者懇談會、入園式、國民學校一年擔任諸先生及保姆との懇談會、靖國神社臨時大祭と祈念式
五月	
六月	
七月	
八月	
九月	
十月	本年度新入母會幹事會

お花見遠足、天長節を期して紀元二千六百年記念國旗掲揚竣工式を揚ぐ(神宮の修祓に始り嚴かに行はる)

星ヶ浦海岸に全幼児お母さん遠足會  
保姆軍艦便乘(大連より旅順迄)

國民學校運動會全幼児參加  
兒童愛護週間の催し幼児大會

(市内十三箇所の幼稚園児と母共に旗行列神社參拜)  
麻診流行期に入る、身體検査 園児二十四名罹病  
東京佐々木先生の音感教育講習會始まる保姆出講

園児一名腸炎にて突然逝去  
幼児と共に園庭の花を贈り葬儀に列したり追悼の情に堪へず

星ヶ浦海岸保育を始む(暑中休み迄お休み中一日、十五日の兩日、幼児來園お断し會をなす。)

幼兒一錢貯金獻金を満日新聞に持參  
母の會開催(幼兒健康増進問題について星ヶ浦、奥

井農園遠足(母と幼兒)林檎は枝もたわゝにみのる、  
ブドウサツマ芋、豚など育ち、お馬に幼兒は喜ぶ。

幼兒身體検査  
老虎灘へ遠足、稻穂實る(母と幼兒)旅順女子師範生

徒五十名參觀せらる。  
母會開催(下駄の鼻緒作り指導)

不用品交換會開催

(大小スケート靴、運動靴、衣類洋服、家具皆さんに大變喜ばれたり、夏期今一回開催を約す)

勅語下賜記念日の催し、市内全保姆大連神社参拜後緑山に秋色を楽しむ。

十一月  
羽衣高女講堂に於て「お母さん大會」を開催募集せるお母さんは千名を越ゆるの盛會であつた、幼児の歌、樂隊、仕舞、可愛いピアノ、童踊、人形芝居等にてお母さんを喜ばせ、お母さんの間の講演、席上にて幼児保育標語の募集をなす。

七五三のお祝ひと母の會、大連神社参拜祈願をなす。

十二月  
畏れ多くも宣戰の大詔をラヂオを通じて幼児と共に奉拜し直に神社に参拜赤誠を誓ひ奉る。

同情週間、惠まれざる幼児達に一錢貯金を集めて贈る(新聞社に依頼す)

皇太子殿下御降誕奉祝式、遊戯會の後、大連神社祈願式に参拜せり。

當日年末の贈りものを節約して國防獻金をなしたり、

ザフテリア流行の爲、第二回目豫防注射をなす。

新嘉坡陷落 奉祝参拜(母と子と共に)

第二十七回陸軍記念日式後 國民學校一年

# 臺北市私立錦幼稚園

竹下ヲル

創設 本園は昭和五年三月一日創設の私立錦幼稚園を、同年九月二十六日附認可を得て、私立錦幼稚園と改稱し、殖民地に於ける幼児の心身性情習慣等の圓滿なる發達を計り、國民性の涵養につとめ、兼ねて家庭教育を補ひ我國風を培養舒助長せんが爲めに設立し、昭和六年度よりは本島人幼児をも入園を許可し、同化の趣旨を徹底せしめんことを期してゐます。

位置 當幼稚園は、市の南郊、現今盛に發展しつつある方面に位置し、廣い道路を隔て、東洋一をほこる臺北高等學校の建物と向ひ合ひ、近くには臺北帝大を初め多くの學校所在し、居住の方は東京其他の内地より直渡臺が多く、園児達もこの學園地に育てられ、自ら好學心をそつてゐます。

かく環境が新鮮なる風物に親しまれ、三四十間にて青田もあり青毛氈を敷いた様な、高校の廣い運動場もありまして、誠に自然に惠まれた位置であります。

園児數 園児數は、創立當初は四十名二組編成のところ、後八名となし本年は百二十名三組編成の變更申請中であります。内、本島人が今年には十名もあり多くは言語住居其他内地化した知識階級であります。尙入園希望殺到しますが、收容力が乏しいので断つて居る有様であります。職員は園長一主事一保姆三名で保育料